

**製品名: Flg/Bek (リン酸化 Tyr463/466) ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab04676**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	full length 120-140kDa,FOP-FGFR1 90kDa

## 抗原情報

遺伝子名	FGFR1/FGFR2
別名	FGFR1; BFGFR; CEK; FGFBR; FLG; FLT2; HBGFR; Fibroblast growth factor receptor 1; FGFR-1; Basic fibroblast growth factor receptor 1; BFGFR; bFGF-R-1; Fms-like tyrosine kinase 2; FLT-2; N-sam; Proto-oncogene c-Fgr; CD antigen CD331; FGFR2; BE
遺伝子 ID	2260/2263
SwissProt ID	P11362/P21802
免疫原	ヒト Flg/Bek のリン酸化部位 (リン酸化 Tyr463/466) 周辺の合成リン酸化ペプチド

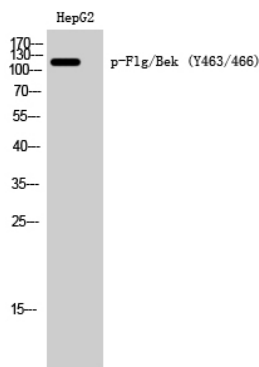
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) ファミリーのメンバーであり、アミノ酸配列はメンバー間および進化を通じて高度に保存されています。FGFR ファミリーのメンバーは、リガンド親和性と組織分布において互いに異なります。代表的な全長タンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されています。このタンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流のシグナル伝達経路を活性化させ、最終的には有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。

## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;Adherens\_Junction;アクチンと細胞骨格を制御;がんにおける経路;前立腺がん;黒色腫;

## 画像データ



リン酸化 Flg/Bek (Y463/466) ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析